

解説

推進工事の品質確保に向けて

しもひこし ゆうじ
下吹越 勇二

鹿児島市水道局
下水道部下水道建設課主幹

1 はじめに

鹿児島市は、九州の南端、鹿児島県本土のほぼ中央に位置し、面積約547km²、人口約60万人の中核市です。本市は、雄大な桜島と波静かな錦江湾に代表される世界に誇れる自然・景観、幕末から明治維新にかけての歴史・文化、温泉、焼酎・黒豚・黒牛・桜島大根をはじめとする豊富な食など数多くの個性豊かな地域資源を有しています。

本市の公共下水道事業は、昭和27年（1952）に事業着手して以来、市街地の発展とともに計画的に処理拡大を行い、令和2年度末の整備状況は、事業計画区域面積7,467haに対して、処理区域面積7,087haで、面整備率は94.9%となっています。また、行政区域内人口59万2,995人に対して、公共下水道で汚水を処理できる人口（処理区域内人口）は47万1,600人で、人口普及率は79.5%となっています。

処理場全体の処理能

力は、20万2,800m³/日で、汚水管路延長2,193kmが整備済みとなっています（令和3年3月31日現在）。

本市では、昭和30年（1955）の供用開始から約66年が経過し、今後、昭和45年（1970）以降に集中的に整備してきた施設は急速に老朽化することが見込まれています。その一方で、人口減少やライフスタイルの変化、節水機器の普及等によって水需要は減少し、下水道使用料の収入増加を見込めない状況にあります。

施設の老朽化と厳しい経営状況の中にあっても、良質な下水道サービスを持続的に提供することが重要であると考えています。



写真-1 南部処理場